事業番号　新24－8

平成２４年行政事業レビューシート　（外務省）

事業名	日本ブランドの講師派遣事業	担当部局庁	外務報道官･広報文化組織	作成責任者
事業開始・終了（予定）年度	平成２４年度	担当課室	広報文化外交戦略課	課長　米谷　光司
会計区分	特別会計	施策名	Ⅲ－１　海外広報，文化交流	
根拠法令（具体的な条項も記載）	外務省設置法第4条 外務省組織令第3条及び第24条	関係する計画、通知等		

事業の目的（目指す姿を簡潔に。3行程度以内）	民間有識者等の高い発信力をもって，日本再生に関する外国の理解を増進し，日本ブランドを再構築し，日本産品の信頼性回復･向上を図る。
事業概要（5行程度以内。別添可）	震災後の日本の復旧･復興の様子を，日本ブランドの復活･強化の観点から国際社会に伝えるため，有識者･著名人を海外に派遣し，それぞれの特性を活かした講演等を行わせる。
実施方法	■直接実施　□業務委託等　□補助　□貸付　□その他

予算額・執行額（単位:百万円）

		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
予算の状況	当初予算	―	―	―	13	-
	補正予算	―	―	―	―	
	繰越し等	―	―	―	―	
	計	―	―	―	13	-
執行額		―	―	―		
執行率（%）		―	―	―		

成果目標及び成果実績（アウトカム）

成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値（24年度）
【成果目標】 開かれた復興，日本再生に関する外国の理解増進 【成果実績】 ｱﾝｹｰﾄ結果（A（最適），B（適），C（やや不適），D（不適）の4段階でB以上）	成果実績	件				5／5件
	達成度	%				

活動指標及び活動実績（アウトプット）

活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
24年度末までに5件の実施（予定）	活動実績 （当初見込み）	件		（　）	（　）	― （ 5件 ）

単位当たりコスト	2，634千円／件（予定）	算出根拠	13，168千円／5件

平成24・25年度予算内訳（単位：百万円）

費　目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由
有識者旅費	6	ー	
有識者謝金	0.9	ー	
講演会謝金	1	ー	
講演会経費	5	ー	
計	13	ー	

事業所管部局による点検

	評 価	項　　目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	日本ブランドの復活・強化に関し，発信力を強め高い成果を上げるためには，外務省が派遣先・派遣講師の選定を行い，在外公館アレンジのもと講演会等を実施する必要がある。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	現時点においては未執行であるが，例えば，航空賃の調達においては，見積合わせ等により，可能な限り廉価な調達を図る等，コストの削減に努める。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	各講演実施にあたっては，講演のみならずプレスインタビューへの対応や，要人や有識者との意見交換も行うとともに，派遣先の国・地域において在外公館を通じて集客を行い，広報効果・費用対効果の向上に努める。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	※類似事業名とその所管部局・府省名	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	本件事業は，特に震災以降，海外における日本ブランドの復活・強化が重要政策課題とされる中，被災地より高いニーズがある。		

予算監視・効率化チームの所見

廃止

上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）

補記　（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年行政事業レビュー		平成23年行政事業レビュー	新24-5